



表紙

丹波栗拾い

お知らせ

秋のイベント同時開催

兵庫県丹波地域合同防災訓練 要援護者避難訓練を実施

9月3日、丹波市・篠山市の両市内で住民・消防・警察や市外の行政職員などが参加し「兵庫県丹波地域合同防災訓練」が開催されました。市島地域では、災害時に避難支援が必要な人への対応や要援護者の避難所を開設。参加者は「多くの人と協力して訓練ができた。今後も定期的な訓練が大切だと思う」と話しました。



福祉避難所へ要援護者を運ぶ参加者たち

B & G全国ジュニア水泳競技大会 5位・7位・8位入賞！



快挙を成し遂げ笑顔の選手たち

8月19日、東京で行われたB & G全国ジュニア水泳競技大会で入賞の快挙を成し遂げました。足立濤音さん(青垣小6年)が自由形で5位・バタフライで8位、県代表メドレーリレーで7位、林優利くん(竹田小3年)が背泳ぎで5位、坂東作乃助くん(吉見小4年)が平泳ぎで7位、村岡紗弥さん(上久下小4年)が背泳ぎで8位に輝きました。

農産物の海外輸出をめざして 香港での視察を実施！



香港の食料品店で日本産農産物の販売状況を調査

丹波栗・丹波黒大豆・丹波大納言小豆などの農産物の海外輸出をめざし、市と丹波ひかみ農協の職員が、香港で調査を行いました。調査をした市の職員は、日本の食材が食料品店で数多く販売されており、売り込みには他地域との差別化できる戦略が必要だと市長に報告。市長は「長期的に戦略を練って取り組むべき事項。まずは10年計画を立てて欲しい」と応じました。

映画「恐竜の詩」 300人規模のロケ敢行！

8月25日、撮影が進む映画「恐竜の詩」の中で、これまで最大規模の撮影が、元気村かみくげ・丹波竜化石工房ちーたんの館・やまなみホールの3カ所で行われました。50人を越える子どもたちをはじめ、300人を越えるエキストラが参加しました。宍粟市や西脇市など、市外からの参加者も。真夏の暑い中での撮影でしたが、現場は大いに盛り上がりました。



ちーたんと一緒に撮影に参加する子どもたち

丹波市豪雨災害復興3年イベント「和一处」 シンポジウムを開催

8月26・27日、豪雨災害からの復興を願うイベント「和一处」がライブピアいちじま周辺で開催されました。26日は、実行委員会主催の被災地間交流イベントや芝生イベントが開催され、27日は市主催のシンポジウムが行われました。

シンポジウムでは、地域のにぎわいや持続性ある活力社会の実現をめざして新たなまちづくりを発信し、市全体のまちづくりを考えました。

1部は、徳島大学大学院准教授田口太郎さんによる「市民による復興まちづくりの意義」と題した基調講演。

2部は、被災地域の復興への取り組みを自治会・団体・大学生など代表のパネリスト4人が紹介。関西大学の岡教授をコーディネーターに、丹波の地域資源やこれからの課題について、ディスカッションしました。地域の景観形成、市の魅力発信、交流人口の増加につながる取り組みなど広く発信しました。人と人とのつながり、地域が主体的に取り組むことが大切であり、それが新たなまちづくりにつながることを共有しました。

丹波布の魅力発信！ 地域おこし協力隊に西尾さん

9月1日、地域活性化を担う「地域おこし協力隊」の隊員として、西尾真澄さんが着任しました。任務は丹波布の魅力発信など伝統技術を生かしたまちづくりです。

西尾さんは「大学では、日々の暮らしの工芸品、特に紙や布について学んだ。中でも、丹波布は色あいや風合いが優しく、心が落ち着く。たくさんの人に広めたい」と丹波布のよさを語りました。



丹波布について意見を交換する西尾隊員(写真右)



基調講演を行う田口太郎徳島大学大学院准教授



それぞれの立場から意見を発表するパネリストたち

市長と高校生が市の未来を語り合う タウンミーティング



アイデアを出し合う高校生を見守る谷口市長(写真中央)

8月19日、市民のニーズ・意見を市政に反映させるため、タウンミーティングが開催されました。第1回目は「暮らし続けたいまちにするアイデア貯金箱」と題して、市内在住の高校生27人が集まりアイデアを出し合いました。参加した高校生は「とても楽しかった。違う高校の生徒同士で市の未来について話すことは貴重な経験だった」と笑顔で答えてくれました。

保育所・認定こども園の 入所・入園申込受付を開始

子育て支援課 (山南庁舎内) ☎77-0201

平成30年4月から、もしくは年度途中に入所・入園を希望される乳幼児の申込受付を開始します。詳細は、各施設・各支所窓口で10月上旬配布予定の入所・入園の案内を確認してください。

■受付期間

①1号認定：10月10日(火)～20日(金)

②2・3号認定：11月1日(水)～17日(金)

■対象／おむね生後6カ月の乳児から就学前までの子ども

■認定区分／年齢や保育の必要性で、3つの区分に認定します。認定された区分で利用可能施設が決まります。

○満3歳以上

1号認定／標準時間の教育を希望する場合・認定こども園

2号認定／保育を必要とする場合・保育所・認定こども園

○満3歳未満

3号認定／保育を必要とする場合・保育所・認定こども園など



■提出書類／「支給認定申請書(現況届)兼利用申込書」と「就労証明書」など。必要書類は子育て支援課・各支所・各施設に備え付けています。

■受付場所

○1号認定／各施設

○2号・3号認定／第1希望の各施設※やむを得ない場合は、各支所で受付可能。

■保育料／入所決定後に保護者へ個別に通知します。

■そのほか／途中入所の決定は、希望月の前月20日頃です。施設の定員や保育士の配置などにより、希望施設への入所・入園が困難な場合があります。アフタースクール・公立幼稚園の入所・入園については次号に掲載します。

看護専門学校 地域枠願書受付開始 平成30年4月入学学生募集

看護専門学校 (県立柏原病院隣) ☎72-0528

■受験資格

●一般・学校教育法第90条第1項の該当者で①～③のいずれかに該当、または平成30年3月時点で該当見込みの人。

①高等学校または中等教育学校を卒業した人

②通常の課程による12年の課程を修了した人

③文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた人

●地域枠④⑤⑥すべての要件を満たす人

④前記①～③の該当者で、平成30年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの人

⑤平成29年4月1日現在、市内に住所を有し、引き続き居住する人

⑥合格した場合、必ず本校に入学する人

■試験日時・場所(予定)

●地域枠／11月5日(日) 午前9時～午後5時 柏原住民センター

※地域枠の願書受付は10月10日(火)～18日(水)

●一般／1日目：平成30年1月19日(金) 午前9時～午後5時 丹波の森公苑

2日目：1月20日(土) 午前9時～午後5時 本校

※一般の願書受付は12月4日(月)～13日(水)

■出願書類

①入学願書・受験票・志望の動機

②写真2枚③受験票返信用封筒④受験資格、同一人物であることを証明する書類⑤2,200円の定額小為替の入学考査料

詳細は「丹波市立看護専門学校学生募集要項」で確認してください。

要項および入学願書は、各支所・看護専門学校、市内高等学校にあります。また、市のホームページからもダウンロードできます。

■出願方法

①持参：平日午前9時から午後4時※土曜日、日曜日および祝日を除く。

②郵送：簡易書留で学校宛に郵送

市長と語ろう！第2回 タウンミーティング開催

市民のニーズ・意見を把握し、市政に反映させるため、市長と市民が市の未来を語り合う「タウンミーティング」を開催します。

第2回のテーマは子育て支援。市の子育て支援策を説明し、子育てに関わる市民と語り合う場を設けます。

■とき/10月15日(日) 午後1時～4時

■ところ/春日住民センター

■対象/子育てに関係する人

※市内在住・在勤・在学で高校生以上

■定員/30人※先着順

■申込方法/総合政策課・各支所に備え付けの申込用紙を持参・郵送などで提出してください。

■申込期限/10月5日(木)

■そのほか/託児あり。事前申込必要。

☎総合政策課(氷上庁舎内)

☎82-0916 ☎82-5448

ごみの減量がテーマ たんばエコフェスタ開催

10月は廃棄物減量月間です。減量月間の取り組みとして、ごみの減量化・再資源化をテーマにしたイベントを開催します。リサイクルなどの少しの心がけが大きな減量につながります。イベントに参加し、ごみの減量方法を学びましょう。

■とき/10月22日(日) 午前10時～午後2時

■ところ/市クリーンセンター周辺

■内容/フリーマーケット・出店、リサイクル体験、施設見学、再生品抽選会など

同時に「リサイクルをテーマにした工作コンクール」の表彰式も行います。

※エコフェスタの開催に伴い、10月16日(月)～24日(火)の間、通常の再生品譲渡を中止します。

☎環境整備課(丹波市クリーンセンター内)

☎78-9999

太陽光発電設備の 申告はお済みですか

太陽光発電設備を所有の場合、償却資産(固定資産税)の申告の対象になることがあります。対象の場合は、毎年1月末までに申告が必要です。

市の調査により、未申告の場合は申告書を送付します。課税は、設備を取得した翌年度からです。

■申告対象者

設置者	要件
法人	償却資産として申告対象。
個人(事業主)	店舗やアパート、農業などを営む人が事業のために太陽光発電を設置した場合、申告対象。
個人	事業用の場合は償却資産として申告の対象。事業用でなくても、発電出力が10キロワット以上の設備は、売電事業用とみなし申告が必要。

※売電による収入は別途、所得税や市県民税の申告対象になることがあります。

☎税務課(氷上庁舎内) ☎82-2003

軍人恩給等援護制度 相談会のお知らせ

旧軍人などを対象に、恩給制度の個別相談会を開催します。該当の人はご相談ください。予約は不要です。

■とき/10月31日(火) 午後2時～4時

■ところ/県和田山庁舎 302 会議室

■内容/個別ブースにて個別相談会

■対象

①旧軍人もしくはその遺族

②軍人としての期間中に傷病を受け、現在もその後遺症のある方

③戦没者の遺族

※現在受給中の方の再申請は不要です。

☎県生活支援課恩給援護班 ☎078-362-3501

☎社会福祉課 ☎88-5027

臨時福祉給付金 申請手続きはお済みですか

社会福祉課(春日庁舎) ☎ 88-5027

臨時福祉給付金(経済対策分)は、消費税率の引上げによる影響を緩和するために、所得の低い人に対して一人当たり15,000円を支給するものです。4月下旬に郵便で要件に該当すると思われる対象者に、申請書を送付しています。期限までに申請ください。期限を過ぎると辞退したものとみなされます。

また、臨時福祉給付金にかかる振り込み詐欺・個人情報の詐取事件が全国で多発しています。この給付金に関して、振込みを依頼することはありません。不審な電話に注意してください。

■対象者/基準日の平成28年1月1日に市に住民登録があり、平成28年度分の市民税均等割が課税されていない人。
※生活保護の受給者、市民税課税者の扶養になつている人は対象外です。
■申請期限/10月24日(火)
■申請窓口/各支所、社会福祉課

■そのほか/詐欺や個人情報詐取にご注意ください。

①市や厚生労働省などが銀行・コンビニなどの現金自動支払機(ATM)の操作をお願いすることは、絶対にありません。

②ATMを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことはできません。

③市や厚生労働省が臨時福祉給付金を支給するために、手数料などを求めることはありません。

不審な電話や訪問があった場合は、市または丹波警察署、警察相談専門電話「#9110」に相談してください。



教育に関する悩みを相談ください

レインボー教室・教育相談室

市立学校教育課(山南庁舎内) ☎ 70-0811

◇レインボー教室

何らかの理由で学校に行けない、または休みがちな子どもたちを対象にしたレインボー(適応指導)教室を開設しています。学校と連携しながら、学習を中心に読書・パソコン・スポーツ・散策・料理・制作などを行っています。活動を通じて生活の改善、心や体元気を取り戻します。まずは電話で相談してください。教室の見学も可能です。

- とき/月曜日、金曜日 午前9時30分～午後3時30分
- ※祝日を除く。長期休業中も開設。短時間利用も可
- ところ/柏原支所別館2階
- 対象/市内の小中学校に在籍する児童・生徒
- 送迎/保護者の責任で選択
- ※公共交通機関利用のための通学証明可能
- 申込み先/在籍小中学校、レインボー教室、教育相談室

◇教育相談室

学校や家庭生活、子育ての中で悩みがある児童・生徒、保護者や家族をはじめ、児童・生徒の指導に悩んでいる学校関係者など、教育についての様々な相談に応じます。気軽にお電話ください。

- そのほか/相談は、午前9時～午後5時まで受け付けています。
- レインボー教室 72-1200
- 教育相談室 73-0866
- 専用電話 ☎ 73-0866
- とき/月曜日、金曜日 午前9時～午後5時まで
- ところ/柏原支所 別館2階
- 対象/市内在住の児童・生徒・保護者・家族、市内学校関係者



JRでの通勤・通学は市営駐車場が便利です

市営駐車場は、JR各駅の隣接地に整備した駐車場です。月極だけでなく、一時利用もできます。営業は24時間、年中無休です。利用料金・空き状況をお知らせします。

■料金・空き状況一覧表 8月25日時点

駐車場名	一時料金		月極料金	空き状況
	1時間以内	1時間超(回/日)		
柏原駅前駐車場	—	—	4,000円	空有
柏原駅前駐車場	無料	300円	—	—
石生駅前駐車場	無料	300円	3,000円	空有
黒井駅前駐車場	無料	300円	—	—
黒井駅前月極駐車場	—	—	3,000円	空無
谷川駅前駐車場	無料	300円	—	—
下滝駅前駐車場	無料	300円	3,000円	空有
市島駅前駐車場	無料	300円	3,000円	空無
丹波竹田駅前駐車場	無料	300円	3,000円	空有

市営丹波市デマンド会 ☎ 82-6644

10月は「土地月間」です 忘れずに届出を!

◇5,000㎡以上の土地取引は届出が必要です

国土利用計画法に基づき、市内で面積が5,000㎡以上の土地取引をした場合は、届出が必要です。契約を締結した日から2週間以内に、市を経由して知事に届出をしてください。

◇土地の買い取りを希望できます

県や市は、公有地の拡大の推進に関する法律に基づいて、公共施設などの整備に必要な土地を計画的に取得する、土地の先買い制度を設けています。地方公共団体に土地の買い取りを希望する場合には、その旨を申し出ることができます。申出ができるのは、200㎡以上の土地です。

なお、10,000㎡(1ha)以上の土地を有償で譲り渡そうとする場合は、土地を譲渡する日の3週間前までに、市への届出が必要です。

市営都市住宅課(春日庁舎内) ☎ 74-2364

水道コラム 水の備蓄を始めよう!

ローリングストックという、日常使う食材・非常食を消費しながら備蓄する防災方法をご存じですか。

まずは、水道水をペットボトル数本に入れてくみ置きをします。くみ置きした水を料理などに使いながら、空になったら補充して使用するのを繰り返します。こうすれば、常に数日の水の備蓄ができます。くみ置きのポイントは、水道水を①清潔でフタのできる容器に注ぐ②蛇口から直接、口元いっぱいまで入れる③直射日光を避けて保存すること。

保存目安は、常温で約3日、冷蔵庫で約1週間。使用するときには、直接口をつけずに使用してください。

災害はいつ起こるかわかりません。もしもの時のために、水の備蓄から防災を始めましょう。

市営水道部 経営企画課(柏原支所内) ☎ 72-0605

シリーズ「投票に行こう」Vol.12 選挙の種類を知ろう

◇都道府県議会議員選挙

都道府県議会の議員を選ぶ選挙です。4年の任期満了だけでなく、議会の解散などによって議員または当選人のすべてがいなくなった場合にも行われます。

任期満了に伴う選挙の投票日は、任期満了日前30日以内と定められており、立候補の届出日(告示日)は投票日の9日前までです。

次の兵庫県議会議員選挙は平成31年6月10日の任期満了に伴い、統一地方選挙の日程で執行される予定です。



市営選挙管理委員会(氷上庁舎総務課内) ☎ 82-1002

秋のイベント同時開催

食・産業・文化の魅力の体感やミニSL乗車ができるイベントが勢ぞろいします。

- とき / 10月29日(日) 午前9時30分～午後3時
- ところ / 丹波の森公苑

◇丹波GO!GO!フェスタ2017



ステージイベントやフリーマーケットなどを開催します。また、子どもたちが好きな仕事やものづくりを体験するキッズチャレンジを開催します。

◎丹波GOGOフェスタ実行委員会 ☎82-3476

◇丹波市産業交流市

市内企業が大集合し、自社製品や技術力などの魅力を紹介します。

◎新産業創造課(春日庁舎内) ☎74-1464

◇丹の里・丹波市「秋の味覚フェア」

秋の味覚を味わえるイベントを開催します。農家こだわりの食材から、市内外の飲食店のとっておきの料理まで、「丹波市産食材」を楽しむブースが出店します。

◎丹の里・丹波市「秋の味覚フェア」実行委員会(農業振興課内) ☎74-1465



◇丹波三宝スイーツフェスティバル2017

丹波三宝(丹波栗・丹波黒大豆・丹波大納言小豆)を生かしたスイーツが勢ぞろいします。

- とき / 10月29日(日) 午前10時～午後3時
- ところ / 柏原住民センター
- ◎丹波三宝スイーツフェスティバル実行委員会 ☎72-2340

地方創生インターンで市の課題解決策を提案



解決策を説明するインターンの大学生

8月28日から5日間、ソフトバンク(株)が大学生を地方の現場に連れて行き、学生が課題解決策を提案する、地方創生インターンが行われました。

参加した29人の大学生は、人口減少社会における5つの地域課題について、移住者や地域住民への取材などを通して解決策を編み出しました。斬新な提案に、市長は「今すぐにも取り組める提案があった。学生の柔軟なアイデアには驚かされた」と講評しました。

柿・栗は早めの収穫をツキノワグマに注意

昨年、クマの目撃情報・痕跡が多数ありました。今年も食べ物を求めて、民家近くまでクマがやってくる可能性があります。

クマは夕方から早朝の間、民家周辺に出没する可能性が高いので、外出の際には十分注意してください。クマを目撃した場合は、丹波警察署または市役所まで連絡してください。

■クマを近づけないために

- ①柿や栗は早めに収穫し、収穫しない木は伐採する。
- ②販売用などで必要な場合は、木の根元にトタンを巻くか、電気柵で囲む。
- ③収穫した農作物、家庭ごみは野外に放置しない。



◎農業振興課(春日庁舎内) ☎74-0221



地域おこし協力隊の活動を報告します

空き家を生かしたまちづくり

しんよしえ 慎淑恵さん vol.11

経歴：大阪府大阪市出身。大学卒業後、建設会社で住宅の設計に従事。木製イスの製作も経験。住まいづくり課 ☎88-5039



はじめまして。4月から地域おこし協力隊として、活動している慎淑恵です。空き家対策と移住促進のための制度「住まいるバンク」を担当しています。

住まいるバンクは、空き家を「売りたい・貸したい」人から物件情報を集め、空き家を「買いたい・借りたい」移住希望の人に情報提供し、地域などとマッチングさせます。

私が丹波で住まいを探す際も、市の職員や地域の人々に関わっていただいて移住することができました。「住まいるバンク」の運営は、所有者・登録業者・地域など多くの人々の協力が必要です。関係する人の要望や意向を組み合わせるだけでなく、こうしたモノやヒトの関わりからさらに深い繋がりがもてる丹波

の人々の懐の深さを、日々感じています。

今後は、ワークショップなどを開催し、空き家をキーワードとして、参加者に丹波の人や地域への愛着を持っていただけるような取り組みも実施していきたいです。



移住相談会で住まいについて説明する慎隊員

市長コラム

丹波語り

指差し確認で着実に歩む



小学生の頃、とても印象に残っているシーンがあります。それは、汽車の車掌の指差し確認のようすです。JRが国鉄と呼ばれていた頃、福知山線を利用すると必ず見かけた光景です。「右よし!左よし!」と指差し確認をしてから「出発進行!」の号令で汽車が発車します。一見大げさに見えるこの一連の動作。しかし、大勢の乗客の命を預かるための「鉄壁の守備」には必要不可欠なものです。電車になった今も、指差し確認が繰り返し行われています。では、JRの仕事は市役所の仕事に置き換えて「鉄壁の守備」について考えたらどうなるでしょうか。市の仕事は、野球の「守備と攻撃」に似ていると思えます。守備とはコンプライアンスや情報管理などの徹底。攻撃は

市の活性化を目指す企画・アイデア・戦略立案。守備と攻撃の連携、守備7割、攻撃3割のバランスこそが大切です。守備を徹底し「鉄壁の守備」を敷いた仕事から、市民の信頼が生まれます。また、鉄壁の守備があつてこそ攻撃が生き、全体として快い風が吹きます。そうしてはじめて「流れ」が生まれます。まずはたゆまぬ努力で「鉄壁の守備」を築き「信頼」を獲得することが必要です。信頼が瓦解するのは一瞬です。職員一同「築城三年、落城三日」を心に刻んで、身の周りの日常業務から「指差し確認」を徹底し、日々着実な歩みを進めます。



丹波市長 谷口進一

お知らせ

住まいづくり課の場所が移転しました
建設部住まいづくり課と移住相談ワンストップ丹波の窓口が、9月1日から春日庁舎2階から3階（前農林整備課執務室）へ移転しました。電話番号の変更はありません。
住まいづくり課（春日庁舎内） ☎88・5039

ダンブ降ろしによる堆肥の販売を一時休止します
市島有機センターでは、10月1日（日）～11月30日（木）の期間、ほ場散布作業の繁忙期のため、ダンブ降ろしによる堆肥の販売を一時休止します。ダンブ降ろしによる販売を希望する人は、9月中にお申し込みください。軽トラの持ち込みによる販売は、通常どおり行っています。ご利用ください。飛散防止のため

歴史講座「楽しく学ぶ、丹波の歴史遺産」開催

■とき／10月15日（日）午後1時30分～3時
■ところ／ライフピアいちじま
■演題／中世氷上郡の寺院文書を読む
■講師／神戸大学大学院人文学研究科 小野塚航一さん
※講座終了後、古文書相談を行います。
■文化財課（山南庁舎内） ☎70・0819

講座・イベント
参加者募集

第10回丹波市民美術展 作品募集
■部門／絵画、彫刻・工芸、書、写真
■応募資格／市内在住・在勤・在学の高専生以上の人
■応募制限／1部門につき1人1点※未発表で個人制作の作品に限ります。
■出品料／一般：1,000円、高校生：無料
■応募方法／春日文化ホール、植野記念美術館、市

必ずブルーシートを持参してください。なお、販売価格は軽トラ1台につき1,029円です。
■農振課（春日庁舎内） ☎88・5028

水道メーター更新取替のお知らせ

水道メーターの更新取替を行っています。委託を受けた業者が宅地内に入り、取替作業を行います。
■実施期間／3月中旬まで
■対象／別途委託業者よりお知らせします。※費用はかかりません。
■その他／取替作業は約30分で、作業中は一時断水します。留守の場合でも取替えることがあります。作業員は作業員証を携帯していますので、必要に応じて提示をお求めください。
■水道部工務課（柏原支所内） ☎72・0605

10月1日は浄化槽の日

浄化槽は、し尿や生活雑排水をきれいにして川に戻し、水環境の保全に大きな役割を果たしています。浄化槽の清掃は、1年に1回以上、法令で義務付けられています。また、全ぽっ気方式の浄化槽は半年に1回以上清掃が義務付けられています。大切な水環境を守るため、適正な維持管理をお願いします。
■環境整備課（丹波市グリーンセンター内） ☎78・9999

宝くじ社会貢献広報事業の助成金で備品を購入しました

一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を活用し、春日部地区自治協議会が会議テーブルやイス、ロッカーなどを購入しました。購入した備品は、地域コミュニティ活動の充実・強化に役立てられます。
■市民活動課（氷上住民センター内） ☎82・0409



日、1月13・20・27日、2月10・17・24日、3月3日午後1時30分～4時30分
■ところ／氷上住民センター
■対象／パソコンを持参でき、1分間に120文字を打てる人
■定員／20人※申込者が少ない場合は開講しません
■料金／5,400円（テキスト代ほか）
■申込方法／電話またはファックス
■申込締切／10月10日（火）
■開講日／10月10日（火）
■開講時間／10月10日（火）午後1時30分～4時30分
■会場／福祉課（春日庁舎内） ☎74・0222 ☎74・3005

募集

市営住宅入居者を募集

■募集団地・戸数
○公営住宅：小山団地（青垣町沢野）3K1戸▼拳田団地（柏原町拳田）3DK1戸▼玉巻テラス（山南町玉巻）3DK1戸▼新郷団地（氷上町新郷）3DK5戸▼青垣新団地（青垣町佐治）3DK1戸▼終団地（市島町喜多）3DK8戸▼城ヶ花団地（市島町酒梨）2LDK2戸▼牛河内団地（春日町牛河内）3LDK2戸
○特公賃住宅：拳田団地（柏原町拳田）3DK1戸▼この団地（春日町野上野）3LDK4戸※特公賃住宅の応相寺・城ヶ花団地は常時募集しています。
■申込期間／10月2日（月）～16日（月）
■申込窓口／都市住宅課・各支所
■入居予定時期／11月下旬
■開講日／10月2日（月）～16日（月）
■会場／都市住宅課（春日庁舎内） ☎74・2364

イベント

第15回ヘリテージマナー大会

ヘリテージマナー大会（歴史文化遺産活用推進員）の活動紹介や歴史的建築物などの保存・活用についての大会です。
■とき／10月28日（土）午後1時～4時30分
■ところ／崇広小体育館
■文化財課（山南庁舎内） ☎70・0819

いちじまいきいきフェスタ2017のご案内

文化祭・商工まつりをします。
■とき／11月3日（金・祝）午前9時～午後4時※文化作品展は11月1日（水）～3日（金・祝）
■ところ／ライフピアいちじま、三ツ塚史跡公園周辺
■内容／文化作品展、文化発表会、商工業製品の展示
■問い合わせ／いきいきフェスタ実行委員会事務局（市島支所内） ☎85・1001

人権歴史講座
■とき／10月2日（月）午後7時
■ところ／氷上住民センター
■内容／日本国憲法と部落差別
■講師／大阪市立大学元教授 上杉聰さん
■定員／50人
■会場／氷上文化センター ☎82・1064 ☎82・4086
■開講日／10月2日（月）午後7時
■会場／市会館 ☎74・2310

仕事に関する相談は…
「丹（まごころ）ワークサポートたんば」
■丹波ワークサポートたんば（春日庁舎内） ☎74・3660

丹ワークサポートたんばでできること
求人情報の検索や求職申込、職業相談ができるほか、専門のカウンセラーによる就職・心理相談や巡回職業相談、就職フェアなどを実施しています。市内で働きたい人のお越しをお待ちしています。

利用者延べ20,000人！
役所春日庁舎4階にある「丹ワークサポートたんば」の利用者が開設5年目で20,000人に達しました。若者の就職支援はもちろん、U・Iターンを希望する人や生活保護を受給している人、障がいのある人の就労も支援しています。市とハローワーク柏原が共同で運営しているため、職業相談とカウンセリングのワンストップサービスを実現。ベテランスタッフが個々に応じたきめ細かな支援を行っています。

■とき／月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
■ところ／春日庁舎4階
■就職・心理相談の予約先／ ☎080-3433-3984
※予約優先です



今、一番運動ができていないのは、仕事や家庭をもつ20〜60代の人です。日常生活で体を動かして、楽しむ時間を取りにくい世代です。そのため、会社や事業所で毎朝のラジオ体操などを取り入れることが、健康な社会をつくるために大切です。

職場一丸となってスポーツに取り組んでみませんか。まずは、体力測定が勧めです。すでに実施している事業所は、みんなで和気あいあいと楽しんで取り組まれています。測定後にそれぞれの体力に応じた、体力づくりの目標を立てることも大切です。事業所のこうした取り組みが広がるよう応援します。

◎文化・スポーツ課（春日文化ホール内） ☎88-5057

消費者契約法が、情報通信技術の発達、高齢化の進展などを受け、今年6月に改正されました。法は消費者と事業者との情報・交渉力格差から消費者を守るために制定されました。

大きな改正は2つ。1つ目は「過量契約取消規定」の新設。ひとり暮らしで、不要であることを売手が認識しているながら、大量の健康食品を購入させた場合、取消ができる規定です。2つ目は「消費者の解除権を放棄させる条項は無効」の新設。商品に不具合があった場合でもキャンセル・返品は一切できませんというような契約条項は事業者側に一方的に有利であり、無効になります。

◎丹波市消費生活センター（くらしの安全課内） ☎82-0996

自尊心とは「自分はかけがえない大切な存在」と思う感情のことです。自尊心が育まれると、自分が大切にされていると感じることができ、他人のことも自分と同じように大切な存在として思いやることができると言われています。感情の形成には、子どもと同じ目線で向き合い、関わるのが重要です。

幼児期に大人の都合や考えを押し付けられないようにしましょう。他の子と比較せず、本人の頑張りを認めましょう。「ダメ」という否定的な言葉でなく、「〇〇しよう」と肯定的な言葉で伝えましょう。自分も他人も大切にできる子どもを育てたいですね。

◎人権啓発センター（氷上住民センター内） ☎82-0242

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医

「丹波市平日夜間応急診療室」と「休日応急診療所」10月の当番医 (敬称略)

丹波市平日夜間応急診療室 [柏原日赤]					休日応急診療所	
月	火	水	木	金	土	日
						1 赤松義樹 (内科)
2 上田明德 (外科)	3 細見成一 (婦人科)	4 上山知己 (内科)	5 柏原日赤医師	6 岩崎良一 (外科)	7 8 柏原日赤医師 (内科)	
9 山田耕士 (眼科)	10 田中 潔 (内科)	11 中川泰洋 (内科)	12 柏原日赤医師	13 宮崎直之 (外科)	14 15 丹羽正夫 (耳鼻咽喉科)	
16 赤松義樹 (内科)	17 中澤 敏 (内科)	18 平島 顕 (整形外科)	19 柏原日赤医師	20 三浦博幸 (内科)	21 22 平島 顕 (整形外科)	
23 野上壽二 (内科)	24 久保田孝則 (内科)	25 上田明德 (外科)	26 柏原日赤医師	27 岩崎良一 (外科)	28 29 太田将文 (眼科)	
30 田中庸生 (外科)	31 細見成一 (婦人科)					

◎当番医は変更になることがあります。診察は急急的なものです。症状が悪くなる場合などは、後日かかりつけ医を受診しましょう。医療機関のお問い合わせは消防本部（☎72-2255）まで。

◎網かけの印は休日診療所で受診してください。

10月の相談

氷住=氷上住民センター、柏住=柏原住民センター、山住=山南住民センター、青住=青垣住民センター、市農=市島農村環境改善センター、春住=春日住民センター、氷保=氷上保健センター、氷=市役所 春=春日庁舎、柏支=柏原支所、市支=市島支所、丹健=丹波健康福祉事務所
電話の掛け間違いがないようご注意ください。

種別	相談名	日・曜日	時間	場所	問い合わせ先
消費	消費生活相談	月・火・木・金 (祝日を除く)	午前8時30分～午後5時15分	消費生活センター (くらしの安全課内)	丹波市消費生活センター ☎82-0996 消費者ホットライン※土日 ☎0570-064-370
行政	行政相談	4日(山住)、10日(氷)、12日(青住)、17日(春住)、18日(柏住) 19日(市農)	時間/午後1時30分～3時30分		総務課 ☎82-1002
人権	特設人権相談所	10日(柏住)、16日(春住)、19日(青住)	時間/午後1時30分～4時		柏原人権擁護委員協議会 ☎72-0176
	常設相談所	水(祝日除く)	午前9時～午後4時	神戸地方法務局柏原支局	柏原人権擁護委員協議会 ☎72-0176
	総合生活相談 (隣保館相談)	電話: 平日 午前9時～午後5時 出張: 10日(柏住)、19日(青住) 時間/午後1時30分～4時		来館相談も可能	氷上文化センター ☎82-1064 七日市会館 ☎74-2310 ※電話相談は氷上文化センターのみ
法律	行政書士による無料相談会	1日	午前10時～午後4時	ゆめタウン1階ゆめ広場	県行政書士会撰丹支部(荒木) ☎72-4696
	無料登記法律相談	19日	午後1時30分～4時	柏住	松尾信幸事務所 ☎82-7174 ※共催 県司法書士会たんば支部・県土地家屋調査士会但馬支部
安全	市民生活の安全・安心確保のための指導相談	月・火・木・金 月・火・水・金	午前9時～午後5時	氷 春	総務課 ☎82-1002 春日支所 ☎74-0221
福祉	認知症介護者相談日	6日	午前10時～正午	春・1階相談室2	介護保険課 ☎74-0368
	高齢者権利擁護相談日	12日	午前10時～正午	春・1階相談室2	介護保険課 ☎74-0368
	高齢者こころの医療相談日～もの忘れ相談～	24日	午後2時～4時	春・1階相談室2	介護保険課 ☎74-0368
	知的障がい者相談	11日※前日正午までに要予約	午後1時30分～3時	春・1階相談室2	障がい福祉課 ☎74-0222
	こころの健康相談 (障がい福祉)	26日※前日正午までに要予約	午後1時30分～3時	春・1階相談室2	障がい福祉課 ☎74-0222
	身体障がい者相談	24日(氷上健康福祉センター)、27日(柏原福祉センター) 時間/午後1時30分～3時			障がい福祉課 ☎74-0222
健康	健康・栄養相談	4日(山住)、5日(柏支)、11日(春住)、17日(市支)、25日(青住)、26日(氷保) ※「減塩相談」同時開催 受付時間/午前9時30分～11時 (予約優先)			健康課 ☎82-4567
	こころのケア相談	5日※要予約	午後1時15分～	氷保	健康課 ☎82-4567
	思春期保健相談	17日※要予約	午後1時45分～	丹健	地域保健課(丹健) ☎73-3767
	アルコール相談	27日※要予約	午後1時～	丹健	地域保健課(丹健) ☎73-3767
医療	丹波市夜間健康相談ホットライン	年中無休 午後7時～午前0時		電話相談	☎0120-737-180 ◎地域医療課 ☎82-4611
	小児救急医療相談	年中無休 午後5時30分～翌午前8時 / 土日祝年末年始 午前8時～翌午前8時		電話相談	☎72-4396 ◎地域医療課 ☎82-4611
	夜間おくすり相談	平日の午後9時～10時30分		電話相談	☎080-1432-8132 (丹波市薬剤師会) ◎地域医療課 ☎82-4611
若者	ニート・ひきこもり相談	毎週金曜日/月4回 午前10時～午後4時※要予約		氷住(第1・3金) 春住(第2金) 柏支(第4金)	子ども・若者サポートセンター ☎88-5070

睡眠をしっかりって秋を楽しもう

朝夕、日ごとに涼しくなり、秋の訪れを感じます。秋は、スポーツや読書など、趣味を楽しむのにもってこいの季節です。できるだけ有効に楽しみたいものですね。

ただ、趣味を楽しむあまり、つい夜更かしをしてしまうという人も多いかもしれません。秋は、夏の疲れた体のコンディションを整える必要があります。疲れをとるには質のよい睡眠をとることが大切です。

現代人は忙しい人が多く、土日にまとめて眠るという生活をしている人もいないのでしょうか。しかし、普段スマートフォンやテレビを見たり、なんとなく過ごしている時間はありますか。時間を有効に使って睡眠の時間を確保することで、体を回復させたいものですね。

1日の時間の使い方を見直し、しっかりと睡眠をとりましょう。日中いきいきと趣味に取り組み、秋を楽しみましょう。

血管の老化を防いで健康的な身体をつくろう

血管は全身に血液をめぐらせ、酸素や栄養を運ぶ重要な器官です。しかし、高血圧・脂質異常・高血糖といった生活習慣病や喫煙は血管の老化を加速させ、血管がもろく破れやすくなったり血液の通り道が狭くなったりします。

死に至ることも珍しくない、脳卒中や心筋梗塞の主な原因は、血管の老化(動脈硬化)です。血管の老化を防ぐために食事や運動に気をつけ禁煙をしましょう。

- 食事/一日の食塩摂取目標を守りましょう。成人男性8g未満、成人女性7g未満、高血圧の人6g未満。主食・主菜・副菜、バランスの良い食事を取りましょう。
- 運動/ウォーキング、サイクリング、水中運動など有酸素運動を30分以上、週3~4回以上取り組みましょう。
- 禁煙/喫煙は、たばこに含まれるニコチンの作用で毛細血管が収縮し、血行が悪くなります。

ベストリーダー情報 (8月1日~8月31日)

一般書

順位	本の名前	作者
1	三鬼	宮部みゆき
2	劇場	又吉直樹
3	潮騒はるか	葉室 麟
4	素敵な日本人	東野圭吾
5	君の臓をたべたい	住野よる

児童書

順位	本の名前	作者
1	アランの歯はでっかいぞわーいぞ	ジャーヴィス/作
2	すばこ	キム ファン/文
3	耳の聞こえないジャリーガ	ウリアム・ホリ ナジ・チャーニ/文
4	チキン!	いとう みく/作
5	なにがあってもずっといっしょ	くさの たき/作

図書館カレンダー
10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

×印は全館休館
□印は中央・青垣・山南・市島のみ休館

おすすめ図書

一般書

『丹野智文 笑顔で生きる～認知症とともに～』
丹野 智文/著
奥野 修司/文・構成
文藝春秋 [2017.7]

39歳で若年性アルツハイマー病になったトップ営業マン。選んだのは認知症を悔やむのではなく、認知症とともに生きるという道。家族、会社、仲間たちと笑顔を取り戻すまでのドキュメント。



児童書

『マウスさん一家とライオン』
ジェームズ・ドーハティ/作
安藤 紀子/訳
ロクリン社 [2017.5]

マウスさん一家がピクニックに行ったとき、寝ているライオンを起こして、食べられそうになります。やさしいライオンは見逃してくれました。そんなライオンが人間に捕まってしまう…。



“たんば” 食育クッキング

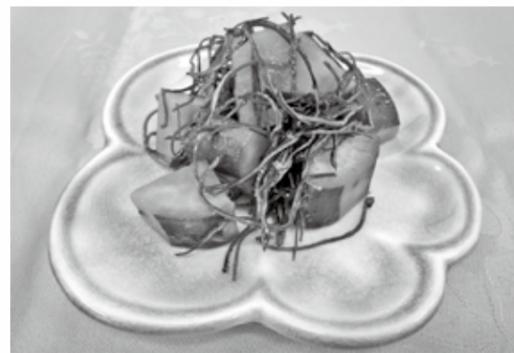
旬の野菜をもっと食べよう
《今より1gの減塩を!》

材料 (2人分)	分量
さつまいも	100g
切り昆布	3g
油	小さじ1
砂糖	大さじ1
しょうゆ	小さじ2
みりん	小さじ1

- ①さつまいもを洗い、1cm幅のいちよう切りにし、水に5分程さらして水けを切る。
②切り昆布は水に浸けて戻す。
③フライパンに油とさつまいも、砂糖を加えてふたをし、弱火で蒸焼にする。
④さつまいもがやわらかくなったら、切り昆布を加え、しょうゆ、みりんを加えて汁気がなくなるまでじっくり炒める。

さつまいもと切り昆布の炒め煮

1人分: エネルギー133kcal・塩分1.0g



栄養士からの一言

さつまいもはビタミンCのほか、食物繊維やカロテンを多く含み、便秘解消に効果的。低温でゆっくり加熱すると甘味が増します。昆布のうま味も加わり、ホクホクしたおいしさを味わえるひと品です。



歴史探訪

シリーズふるさとを見直そう 93
発掘調査で分かった水上地域の歴史

教育文化財課 学芸員 下山文隆・西岡真理

丹波市には、いつ頃から人が住んでいたのでしょうか。発掘調査で、水上町鴨内と横田から、約4000年前の縄文時代の遺跡や土器が見つかっています。また、他の地域では約2万5千年から約3万年前の旧石器時代の石器や遺跡も見つかり、丹波市には、大昔から人が住んでいたことが分かっています。今回は、発掘調査で分かった水上地域の歴史についてお話しします。

鴨内遺跡は、縄文時代から平安時代頃まで人が住み続けていたことが分かっています。昭和63年度の部分的な発掘調査で、縄文時代の人の生活痕が見つかり、縄文土器や石器も見つかりました。これは、水上地域で初めての発見で、約4000年前には、人が生活していたことが明らかになりました。また、古墳時代の土器が広い範囲で見つかり、集落が展開していたと考えられます。さらに、奈良

時代の土器とともに、鴨内谷川の川原の石が大量に見つかりました。このことから、遺跡の低地の大部分が川の氾濫により、埋没したと考えられています。平安時代の土器なども発見されています。平安時代の人の生活痕などは以降の時代の耕作で削られており、全面調査を行っていないため、詳細は不明です。

一方、横田遺跡では、縄文時代から室町時代まで人が住み続けていたことが分かっています。鴨内遺跡と同時代の縄文時代の土器をはじめ、弥生時代の竪穴住居跡が複数見つかっています。また、計画して配置された奈良時代の掘立柱建物跡も複数発見されました。近くに同時期の遺跡で、役所の関連施設だと推定されている市辺遺跡があるため、関連する遺構とみられます。また、鎌倉時代の木棺墓なども見つかりました。しかし、室町時代以降は集落跡がみつからなくなり、集落の中心地が別の場所に移ったと考えられます。

文化財課 (山南庁舎内) ☎ 70-0819



誕生日
平成19年9月14日竹安 亜胡さん(写真右)
里胡さん(写真左)



誕生日
平成28年9月4日 瀧本真由奈さん



出生
平成29年8月2日山下蓮之介さん(写真中央)
兄弟といっしょに!

Happy Tamba はぴたん

丹波の“幸せさん”を紹介

「はぴたん-Happy Tamba-」では、生まれた子、新婚夫婦、誕生日を迎える子を紹介します。
市の公式ラインで毎月20日頃に掲載者になれるクーポンを配信しています。



誕生日
平成18年9月2日 藤本菜月さん
愛犬はるといっしょに!



誕生日
平成19年9月28日 内村虎太郎さん(写真右)
平成27年9月28日 内村煌さん(写真中央)
兄妹みんないっしょに!



誕生日
平成18年9月23日 前川咲空さん



誕生日
平成28年9月21日 山口明穂さん(写真左)
穂香さん(写真右)

戸籍のまど

8月届出順(敬称略)

お誕生おめでとうございます

赤ちゃん 保護者 住所

畑中 翠妃 健太 春日町黒井
山内 涉翔 裕人 青垣町沢野
芦田 有純 康秀 氷上町御油
山下 蓮之介 康伸 山南町小野尻
稲継 清夏 克志 柏原町柏原
谷口 恵菜 智之 氷上町石生
足立 涼羽 卓也 山南町谷川
那須 悠大 大地 氷上町常楽
神原 李武 良太郎 柏原町柏原
梅田 和 大輔 山南町谷川
上田 凜 哲大 春日町野村
奥井 乃彩 亮裕 青垣町沢野
村山 葉空 彰紀 青垣町佐治
余田 佳歩 宏章 市島町上垣
岸 侑愛 謙一 柏原町大新屋
大地 咲之介 憲一 春日町平松
南原 葵慎 依織 柏原町柏原
東野 輝生 聡太 氷上町西中
山内 咲弥 基史 山南町小野尻
幸畑 滯 孫 氷上町石生

お悔やみ申し上げます

氏名 年齢 住所

井上 芳男 80歳 柏原町下小倉
久和 ひとみ 59歳 市島町梶原
村上 きみ子 89歳 山南町篠場
山下 久美子 71歳 氷上町上成松
射場 みつあ 90歳 柏原町大新屋
岸田 富子 86歳 氷上町市辺
鷲野 昌弘 70歳 氷上町市辺
北山 喜美子 87歳 春日町野上野
中川 芳一 92歳 山南町長野
定森 舞依 7ヶ月 氷上町中
中村 宣夫 67歳 市島町梶原
吉住 徳治 93歳 氷上町石生
高辻 省三 71歳 山南町小野尻
徳田 順彦 85歳 柏原町石戸
高見 洋子 76歳 春日町野村
萩野 保 83歳 春日町中山
山本 佳津代 73歳 氷上町新郷

彰彦 78歳 春日町七日市
重子 88歳 青垣町大稗
喜一 89歳 氷上町絹山
ふさ 90歳 氷上町沼
雅司 79歳 春日町鹿場
時江 80歳 柏原町下小倉
利和 74歳 氷上町石生
諠 71歳 山南町谷川
健一 90歳 氷上町下新庄
政 70歳 青垣町市原
常雄 77歳 山南町岡本
昭子 80歳 氷上町常楽
文子 94歳 青垣町栗住野
一男 82歳 市島町中竹田
富久 92歳 氷上町三原
将男 78歳 氷上町水上
文夫 82歳 春日町長王
まさ 97歳 市島町中竹田
奈美 51歳 氷上町西中
政子 84歳 氷上町新郷
博 85歳 春日町朝日
昇太郎 76歳 春日町国領
山南町前川

掲・示・板

世帯数と人口

総人口 65,544人 (△78)
男 31,404人 (△37)
女 34,140人 (△41)
世帯数 25,562世帯 (13)
*平成29年8月末現在・()内は前月比
*住民基本台帳に基づいて掲載

市内交通事故発生状況

死者 1人 (△3)
傷者 169人 (△40)
人身事故 139件 (△12)
物損事故 1,386件 (34)
*平成29年8月末現在・()内は前年同月比

今月の税

国民健康保険税(4期)
納期/10月2日(月)まで
税務課(氷上庁舎内) ☎82-2003

次回の献血

10月26日(木) 氷上保健センター
*午前11時30分~午後4時
健康課(氷上保健センター内) ☎82-4567
10月29日(日) 丹波の森公苑芝生広場(丹波G
OGOフェスタ会場) *午前9時45分~12時・
午後1時15分~3時30分
健康課(氷上保健センター内) ☎82-4567

次回の休日開庁日

9月23日(土)・10月28日(土)
午前9時~正午 *氷上庁舎市民環境課のみ
*休日開庁日(毎月第4土曜日)の取扱業務
・住民票、戸籍謄(抄)本
・印鑑登録、印鑑登録証明書
・住民票、戸籍に関する諸証明書
市民環境課(氷上庁舎内) ☎82-2002

国の重要無形文化財保持者に指定

能楽大倉流小鼓方 上田敦史さん

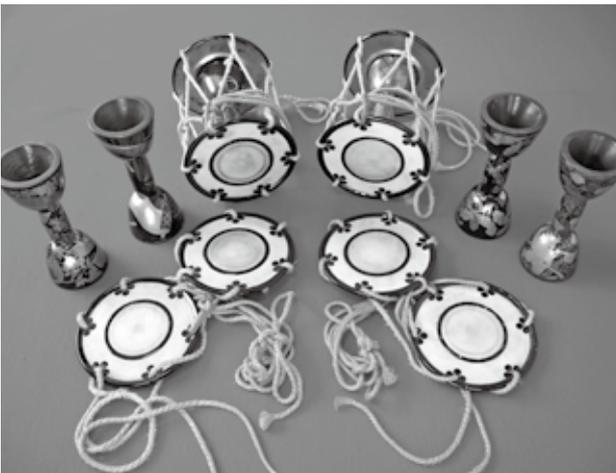


丹波が舞台の新作能を キーワードは「挑戦」

能楽大倉流小鼓方の上田敦史さんは7月21日、国の重要無形文化財に認定されている能楽を高度に体现できるものとして、国の重要無形文化財総合認定保持者に指定されました。

上田さんに指定の喜びと今後の抱負を語っていただきました。

連絡先 ☎ / ☎ 0795 - 71 - 5204(上田)



知ってもらえる喜び

40歳前半の比較的若い年齢で指定を受けられたこと、本当に光栄に思います。子どもの頃から舞台上に立ち始め、本格的に小鼓の修行を始めてから27年。一生修行の身ですが、尚一層励みたいと思います。

指定を受けて何より嬉しいのは、たくさんの方に能楽や能楽師上田敦史について知ってもらえたことです。土地柄が「能楽」というと「農学」と思われる人が多く、説明に困ることも。この機に能楽に興味をもってもらえるとうれしいですね。

能楽のなじむまち丹波

私は3年前に、豊中市から丹波市に移住してきました。豊かな自然の中で、妻や幼い子どもと暮らしたいと考えたからです。また、「丹波猿楽」に縁のある土地であることも一つの理由でした。

丹波猿楽は能楽の元になった猿楽の一つで、中世に大変栄えたものです。移住してから、市内の複数の神社でその流れをくむ翁三番叟が行われていると知ったときは、感激しました。舞台となる神社への信仰もとても篤く、能楽がなじむ土地柄だと肌で感じています。

新しい取り組みにやりがい

現在は、地元新聞社のカルチャークラスの講師や個人レッスンをしたり、市内の祭りやイベントで能楽を披露したりしています。能楽文化を広めるため、市内の小・中学校で能楽教室の開催、地元料亭で能楽を披露する催しも行いました。

丹波では、新しい取り組みに対して多くの人が協力くださり、形になっていきます。大阪が拠点だった頃には考えられないことです。感謝とともに、とてもやりがいを感じています。

丹波が舞台の新作能に挑む

今後は、能楽小鼓を習う人が増えて、稽古の成果を披露する場も多く設けられればいいです。能楽文化が再び根付き、鼓の音色が聞こえるまちになればよいですね。また、生徒さんと一緒に、丹波の物語など題材に、新作の能・狂言にも挑戦したいです。子どもたちと披露公演ができれば素敵ですね。

丹波に能楽文化を根付かせ、市内外から能楽を見に来れる人が増えるようにしたいです。自身の修行はもちろん、文化の発展のためにもますます励みたいと思います。